

1. 取付前の注意

- 取付けに際しては必ずこの取付説明書に従い正しく取り付けてください。
 - ※この取付説明書に記載されていない方法で取り付けられ、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
 - ※水栓金具、電気温水器、即湯システムについては、それぞれ付属の説明書に従い正しく取り付けてください。
- 「保証書（取扱説明書裏表紙）」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客さまにお渡しください。
- 取付業者さまは、商品に欠陥を生じさせる可能性を有しているゆえに、取付業者さまが欠陥を生じさせた場合は過失責任を負うことを十分認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようにご協力ください。
- 付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

安全のために必ずお守りください

ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。
作業前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。

用語および記号の説明

-  **警告** … 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
-  **注意** … 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
-  …… 「注意しなさい!」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
-  …… 「してはいけません!」（一般的な禁止記号です。）
-  …… 「分解してはいけません!」
-  …… 「指示通りにしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）

警告

- 電気・水道工事は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
 - ※火災や漏電、漏水を引き起こす恐れがあります。
- 修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
 - ※ケガや故障が生じる恐れがあります。
- ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
 - ※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

注意

- スライド蝶番の調整後は必ずAねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。
 - ※締め付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。
- 温水を逆に配管しないでください。
 - ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
 - ※感電やショートして発火することがあります。
- 電源は必ず専用のコンセントからお取りください。また、コード類を束ねたまま使用しないでください。
 - ※発熱の恐れがあります。
- 浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
 - ※木部が氷を含んで腐ったり、漏電や感電の恐れがあります。

お願い

- 直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
 - ※変色や変形の原因になります。
- 不陸が5mm/2mを超える場合は必ず壁を施工しなおしてください。
 - ※不陸があるまま取り付けるとキャビネットがひずむ場合があります。
- 洗面器表面はキズつきやすいので次の点について注意して作業してください。
 - ・キャビネットや工具などの固い物を洗面器上に落としたり、乗せてひきずったりしないでください。
 - ・洗面器上に乗らないでください。
 - ※洗面器にキズが付くと補修しても完全に元の状態には戻りません。
- 酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類を使用して本体をふかないでください。
 - ※変色や変形の恐れがあります。
- 壁面工事や建築仕上り工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他の薬品類は、容器などに記載の注意事項にしたがってお使いください。人体に影響が出たり、使用部材の損害や劣化の原因になります。

2. 付属部品

●洗面化粧台

洗面器配置		中央			片寄せ			
タイプ	扉タイプ	引出タイプ	フルスライドタイプ	ニースペースタイプ	扉タイプ	引出タイプ	フルスライドタイプ	ニースペースタイプ
間口750mm	GRN-755SY(※1)-A GJN-755SY	GRH-755SY(※1)-A GJH-755SY	GRFH-755SY(※1)-A GJFH-755SY	GRFO-755SY(※1)-A	—	—	—	—
間口900mm	GRN-905SY(※1)-A GJN-905SY	GRH-905SY(※1)-A GJH-905SY	GRFH-905SY(※1)-A GJFH-905SY	GRFO-905SY(※1)-A	—	—	—	—
間口1000mm	GRN-1005SY(※1)-A	GRH-1005SY(※1)-A	GRFH-1005SY(※1)-A	GRFO-1005SY(※1)-A	—	—	—	—
間口1200mm	GRN-1205SY(※1)-A	GRH-1205SY(※1)-A	GRFH-1205SY(※1)-A	GRFO-1205SY(※1)-A	GRN-1205SYL(R)(※2)-A	GRH-1205SYL(R)(※2)-A	GRFH-1205SYL(R)(※2)-A	GRFO-1205SYL(R)(※2)-A
水栓金具	1セット							
ウエットパレット	1個(品番:GR~のみ)							
ポップアップ排水栓セット	1セット							
排水トラップ	1個							
排水アダプター	1個							
排水プレート	1枚							
ホースガイド	1個 ※3							
固定用ねじ(トラスφ4.0×50mm)	2本							
固定用ねじ(ワッシャー付 なべφ4.5×60mm)	—			4本	—			5本
ブラケット(取付ねじ付)	—			2本(奥900~1200mmのみ)	—			2本
スマートポケット本体、仕切り等	※別表1「●スマートポケット本体・仕切り等」参照。(品番:GR~のみ)							
サイドカウンター BB-GRC305(L/R)	—				1台 ※同梱部材:別表2参照			
サイドベース キャビネット GRH-305L(R)-A	—				1台 ※同梱部材:別表2参照			
取付説明書・取扱説明書	—				1台 ※同梱部材:別表2参照			
各1部								

※1=E5H/E5Y/B5Y ※2=E5HL(R)/E5YL(R)/B5YL(R) ※3 GRH-905SY(A)、GRH-75E5H(A)、GJH-905SYの場合のみ

●別表1 スマートポケット本体、仕切りプレート等

	扉、引出タイプ	フルスライドタイプ	ニースペースタイプ
収納ベース	 1個	1個	1個
固定フック	 1袋	—	—
小物入れ	 2個	2個	2個
小物入れ受け	 1個	1個	1個
仕切りプレート	 1個	化粧台間口750/900mm:2個 1000/1200mm:2個	化粧台間口750mm:1個 900/1000mm:2個 1200mm:1個
小物トレイ	 —	—	2個

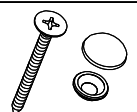
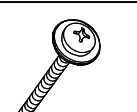
●アッパーキャビネット

	GRU-155C G(A)RU-255C G(A)RU-305C G(A)RU-455C	G(A)RU-755C	G(A)RU-905C GRU-1005C GRU-1205C	G(A)RU-755W G(A)RU-905W	G(A)RU-655FL(R) G(A)RU-755FL(R)
固定用ねじ	B:4本	B:4本	B:6本	B:6本	B:4本
キャビネット連結用ねじ(トラスφ4.0×25mm)	2本	—	—	—	2本
側板固定ねじ	—	—	—	—	A:4セット
マルチバー固定ねじ(止めねじφ4.0×50mm) (六角レンチ付)	—	—	—	—	6本

●別表2 サイドカウンター、サイドベースキャビネット

	サイドカウンター BB-GRC305(L/R)	サイドベースキャビネット GRH-305L(R)-A	GRH-305-A
固定用ねじ (トラスφ4.0×50mm)	2本	2本	2本
キャビネット連結用ねじ (トラスφ4.0×25mm)	—	2本	2本
スポンジパッキン	1個	—	—
蝶番用ダンパー	—	1個	—
平金具 (取付ねじ付)	1組	—	—

表中A・Bは下記ねじを表します。

A	B
 皿φ4.5×60mm 化粧キャップ用ワッシャー 化粧キャップ	 ワッシャー付なべ φ4.5×60mm

●対面収納キャビネット

	LCVS-372SA	LCVS-372SAN	LCVB-752SA
棚板	2枚	2枚	2枚
棚板受けダボ	8個	8個	8個
固定用ねじ(トラスφ4.0×50mm)	—	—	4本
固定用ねじ	B:4本	B:4本	—
キャビネット連結用ねじ(トラスφ4.0×25mm)	2本	2本	—

●トールキャビネット

	GRS-155ML(R)	GRS-255-A GRS-305-A GRS-455-A ARS-255 ARS-305 ARS-455	GRS-305DL(R)-A GRS-455DL(R)-A ARS-305DL(R) ARS-455DL(R)	GRS-305ML(R)-A ARS-305ML(R)
棚板	2枚	2枚	2枚	2枚
棚板ダボ	8個	8個	8個	8個
固定用ねじ	A:4セット	B:6本	B:6本	B:4本
固定用ねじ (トラスφ4.0×50mm)	1本	—	—	—
キャビネット連結用ねじ (トラスφ4.0×25mm)	2本	2本	2本	2本
網カゴ	小1個	—	大1個	中3個
タオル掛	1本	—	1本	—
体重計収納	—	—	間口450サイズのみ1個	
蝶番用ダンパー	—	2個※	1個※	2個※

(※品番:GR~のみ)

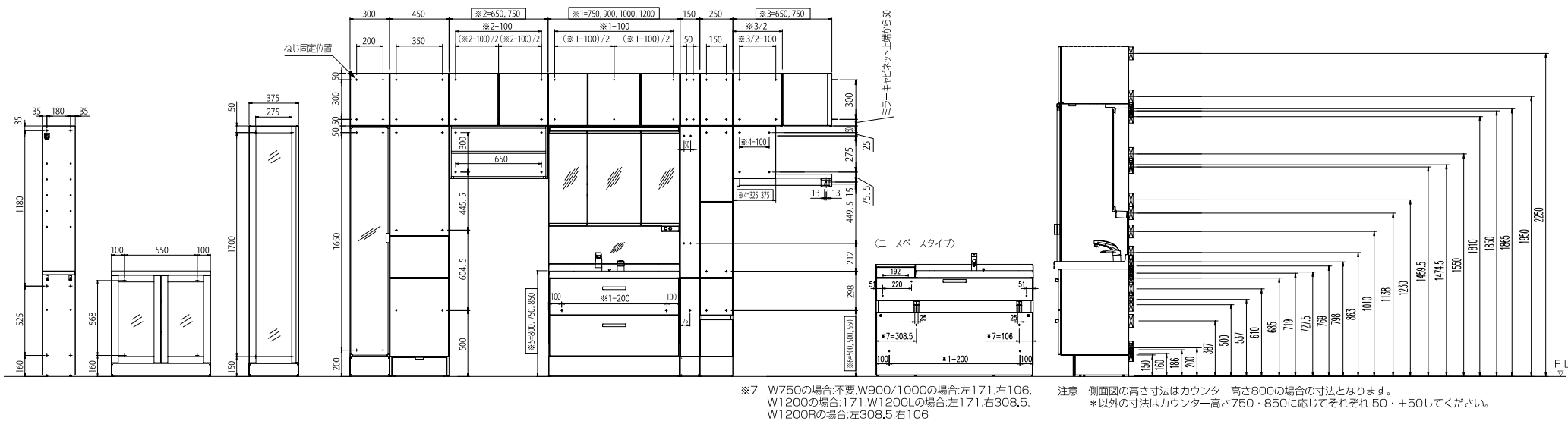
●ランドリーキャビネット

	LCVKO-652 LCVKO-752	GRK-652FL(R)-A GRK-752FL(R)-A ARK-652FL(R) ARK-752FL(R)
固定用ねじ	A:4セット	B:4本
棚板	—	1枚
棚板受けダボ	—	4個
側板固定用ねじ	—	A:2セット
ブラケット固定用ねじ	—	B:3本トラスTPφ4.0×14mm:2本
棚板固定用ねじ	—	皿φ4×45mm:2本 化粧キャップ用ワッシャー:2個 化粧キャップ:2個
蝶番用ダンパー	—	1個※

(※品番:GR~のみ)

- アップパーキャビネット
GRU-155C、G(A)RU-255C、G(A)RU-305C、G(A)RU-455C、G(A)RU-655FL(R)、G(A)RU-755C、G(A)RU-755W、G(A)RU-755FL(R)
G(A)RU-905C、G(A)RU-905W、GRU-1005C、GRU-1205C
- トールキャビネット
GRS-155ML(R)、GRS-255-A、GRS-305-A、GRS-305ML(R)-A、GRS-305DL(R)-A、GRS-455-A、GRS-455DL(R)-A、ARS-255、ARS-305、ARS-305ML(R)、ARS-305DL(R)、ARS-455、ARS-455DL(R)
- ミドルキャビネット
GRK-252-A、GRK-302ML(R)-A、ARK-252C
- 対面収納キャビネット
LCWS-372SA、LCVS-372SAN、LCVB-752SA
- ランドリーキャビネット
GRU-655FL(R)、GRU-755FL(R)、LCVKO-652、LCVKO-752、GRK-652FL(R)-A、GRK-752FL(R)-A、ARK-652FL(R)、ARK-752FL(R)

3. 寸法図



4. 取付前の確認

電気温水器・即湯システムについては、それぞれ付属
の取付説明書をご覧ください。

1. 給水・給湯の確認

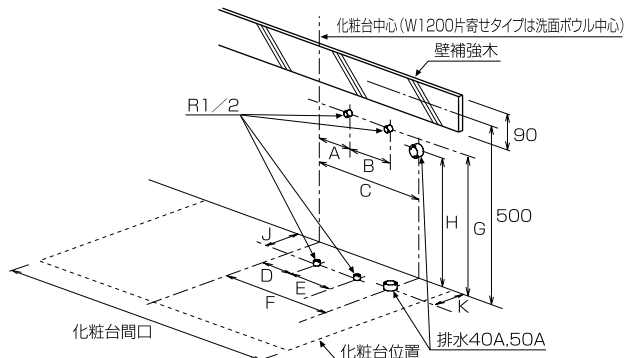
給水・給湯の条件、水栓金具の設置条件は別紙説明書（水栓金具に付属）をご覧ください。

2. 配管工事の確認

給水・給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取り出しているか確認してください。

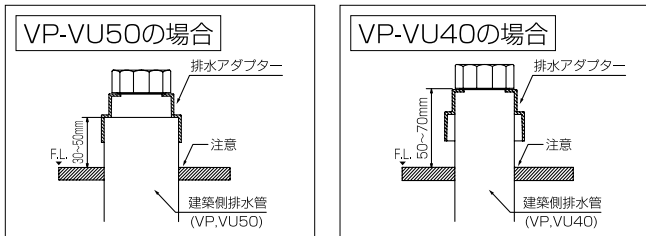
⚠ 注意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドを
することがあります。



		標準取付時	電気温水器取付時
		W750～W1200	W750～W1200
A		40	140
B		100	—
C		270	—
D		40	140
E		100	—
F		285	285
G	750	330	330
	800	380	380
	850	430	430
H	750	365	—
	800	415	—
	850	465	—
J		80	80
K		80	80

●床排水は下図のとおり取り出してください。



⚠ 注意

建築側排水（VP・VU管）は必ず指定の取
出寸法範囲内で取り出してください。
※取出寸法が短いと、排水トラップと接続
できず、漏水を引きおこす恐れがあります。

- 壁排水の場合は市販の排水アダプターをご使用してください。
- 建築側排水管と開口部にすき間がある場合は、シリコンでコーキングしてください。

3. 壁面工事の確認

警告

取付強度を保てない場合、キャビネットが落下してケガをする恐れがあります。下記事項が守られていることを事前に確認のうえ、取付けを行ってください。

- この説明書に記載されている「キャビネットを取付可能な壁面」以外には、取り付けしないでください。記載の条件を満たさない場合は、壁を施工しなしてください。
- 壁の不陸が5mm/2mを越える場合は、必ず壁を施工しなしてください。
- 壁固定ねじは指定のものを、指定本数使用してください。

乾式壁の場合

- 幅90mm×厚み30mm以上の補強木を「ねじ固定位置」(3.寸法図参照)に必ず設けてください。
- 補強木は必ず柱・間柱・縦桟木など建築躯体に固定してください。また、補強木の固定部材は、キャビネットの固定強度(図1乾式壁参照)と同等以上になるよう、種類・数を選定してください。
- 壁固定ねじが補強木の中心に25mm以上かかるように固定してください。
- 壁固定ねじを補強木に届かせるため、壁仕上げの総厚さは12.5mm以下にしてください。
- 石こうボードなどで補強木が見えない場合は、工務店さまに位置および固定方法を確認してください。さらに針刺しなどで壁固定ねじの位置に補強木の中心があることを確認してください。
- リフォームなどの現場で補強木位置が不明な場合は、石こうボードなどをはがして確認してください。また、補強木がない場合は必ず補強木を取り付けてください。

湿式壁の場合

- コンクリートブロック壁の場合、中空部はモルタル詰めしてください。
- AYボルトを壁本体に届かせるため、壁仕上の総厚さは20mm以下にしてください。
- 壁固定ねじに合ったAYボルトを使用して、キャビネットを取り付けてください。

キャビネットを取付可能な壁面

圖1 乾式壁

- ボード類直張り

裏面 ▶

補強木
(巾90×
厚み30以上)

12.5mm以下

●ボード類胴縁取付け

裏面 ▶ 胴縁

補強木
(巾90×
厚み30以上)

12.5mm以下

●タイル仕上げ

裏面 ▶

補強木
(巾90×
厚み30以上)

タイル

12.5mm以下

図2 湿式壁

-

※本文中のねじ固定に関する記載は、乾式壁の場合についてです。
湿式の場合は、下記要領で固定を行ってください。

〈湿式壁の場合の取付方法〉

- ①AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。
- ②壁にφ7.5mmの下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。
※下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。
- ③AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。
- ④キャビネットを壁面に当て、ねじ穴からボルトで固定をします。

(別途手配)

- ・洗面化粧台（ニースペースタイプを除く）
AYボルト：#KB-4×60T(AY)
※トラスφ4×60mm 2本入り
- ・洗面化粧台（ニースペースタイプ）
- ・洗面化粧台以外（アッパーキャビネットなど）
AYボルト：#KB-4X60SC(AY)
※皿φ4×60mm2本、皿ワッシャー2個、化粧キャップ2個入り
AYボルト：#KB-4X60WT(AY)
※トラスφ4×60mm2本、平ワッシャー2個入り
(取付穴7.5mm、深さ60mm以上)

4. 床面の確認

- 設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。
- 床面は強固でグラつき、たわみが生じないことを確認してください。
※キャビネットがグラついたり、取付精度（納まり）が悪くなる恐れがあります。

化粧台の取付け

お願い

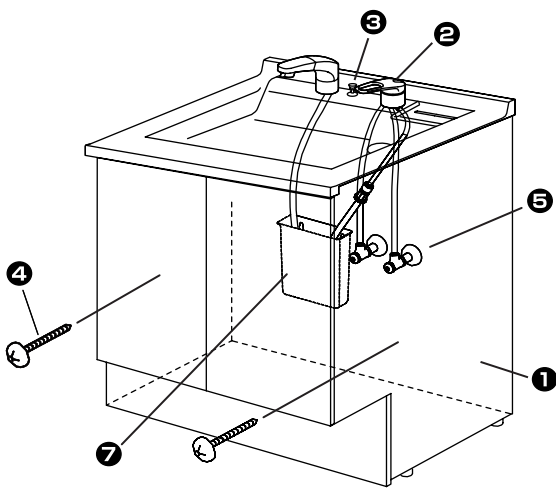
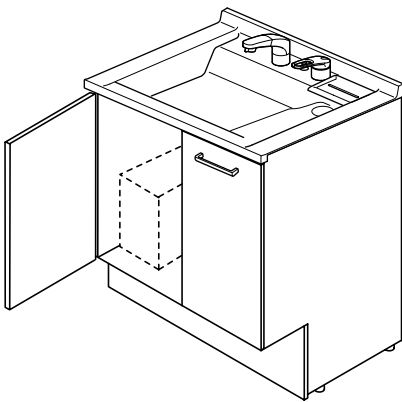
キャビネットの扉、アルミ枠タイプの扉は表面にキズが付きやすいため、取扱いには十分注意してください。

ワンポイント

●キャビネットを壁に固定する際、扉が邪魔になるときは、扉を外して作業することもできます。
※キャビネットの扉の着脱方法は、後述の「扉の取付方法」「扉の取外し方法」をご覧ください。扉を外した場合は、必ず扉を取り付けてください。

下記部材を取り付ける場合は、化粧台を壁固定する前に各部材付属の取付説明書をご覧ください。

- 電気温水器を取り付ける



① ベースキャビネットの下準備



② 水栓金具本体の取付け



③ 排水金具の取付け



④ 洗面化粧台の取付け



⑤ 止水栓の取付け



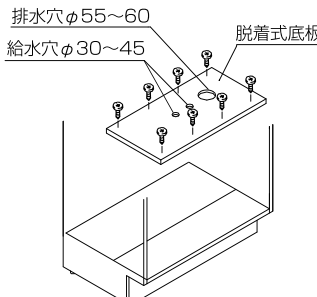
⑥ 排水トラップの取付け



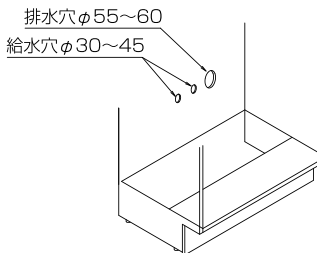
⑦ 水受けタンクの取付け

① ベースキャビネットの下準備

床給水の場合



壁給水の場合



間口 (mm)	標準取付時				電気温水器取付時			
	750	900	1000	1200	750	900	1000	1200
A	—	318.5	393.5	443.5	543.5	—	—	—
B	—	218.5	293.5	343.5	443.5	218.5	293.5	343.5
C	—	51.5	51.5	51.1	51.5	51.5	51.5	51.5
D	—	73.5	148.5	198.5	298.5	73.5	148.5	198.5
E	—	319	394	444	544	—	—	—
F	—	219	294	344	444	219	294	344
G	750	330	330	330	330	330	330	330
	800	380	380	380	380	380	380	380
	850	430	430	430	430	430	430	430
H	—	89	164	214	314	×	×	×
J	750	365	365	365	365	×	×	×
	800	415	415	415	415	×	×	×
	850	465	465	465	465	×	×	×

※即湯システム付は壁排水はできません。

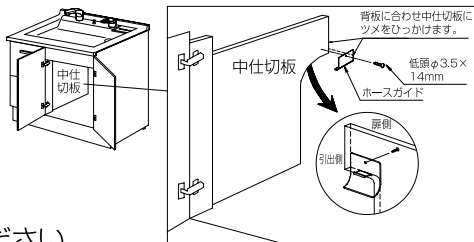
※給湯管の配管は不要です。(表中 ー印)

※壁排水には対応できません。(表中 ×印)

② 水栓金具本体の取付け

●ホースガイドの取付け

GRH-905SY-(A)、GRH-75E5H-(A)、GJH-905SYの場合
ホースガイドをキャビネット中仕切板の切欠きに取り付けます。



●水栓金具の取付け

水洗金具付属の施工説明書をご覧ください。

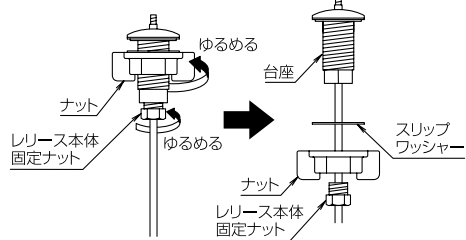
⚠ 注意

- リリースの取付けは水栓金具を取り付けた後に行ってください。
※水栓金具が取り付けられなくなる恐れがあります。

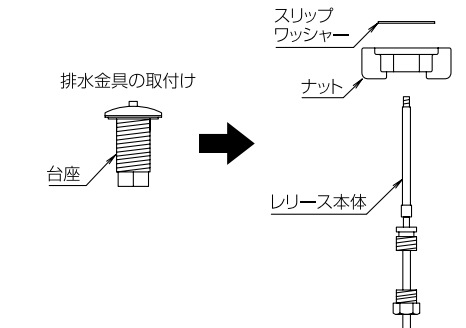
③ 排水金具の取付け

※リリース本体は洗面ボウル裏面に取り付いています。

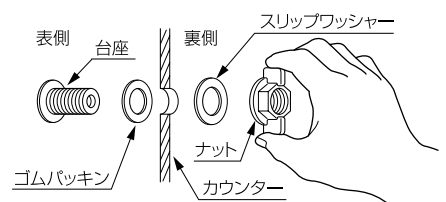
(1)リリース本体固定ナット、固定ナットをゆるめます。



(2)リリース本体、スリップワッシャー、ナットを台座から外します。



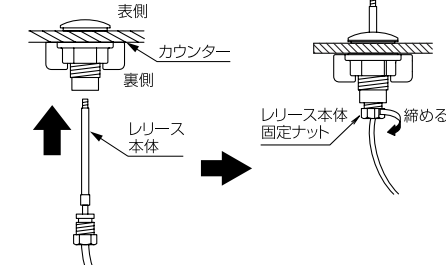
(3)洗面ボウルに台座を取り付けます。



⚠ 注意

ゴムパッキンとスリップワッシャーの取付位置を確認してください。
※取付位置を誤った場合、漏水を引き起こす恐れがあります。

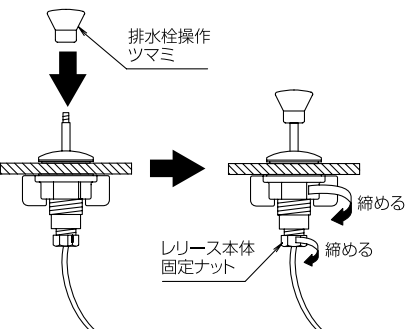
(4)リリース本体を台座に通し、ナットで固定します。



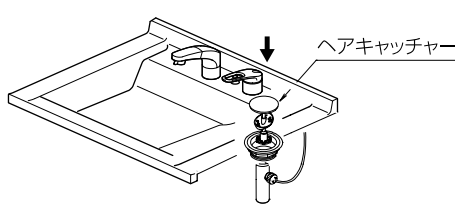
(5)リリース本体の軸を引いた状態で、リリース本体の軸の先端に排水栓操作ツマミボタン(小袋に同梱)を取り付けます。(締め付けトルク200N・cm〔20kgf・cm〕以上)

※軸を工具で固定する場合は、軸がキズつかないように、ウエスなどを巻いて保護してください。

※ねじには乾式の接着剤(赤)が塗布してあります。ボタンを取り付けると接着剤が硬化し始めますので、一度締めたボタンは外さないでください。



(6)洗面ボウルの排水口にヘアキャッチャーを取り付けます。



⚠ 注意

- 強く締めすぎないようにしてください。
※排水口部分が破損し、漏水を引き起こす恐れがあります。
- ナット類は手でしっかりと締め付けてください。
※締め付けが不十分だと漏水を引き起こす恐れがあります。

④ 洗面化粧台の取付け

お願い

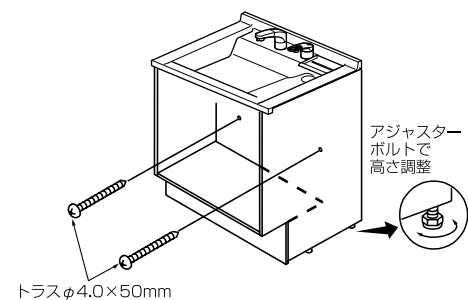
化粧台の水平が出ないと破損、ガタツキが発生する恐れがあります。水平が出ているか、十分に確認してください。
※複数のキャビネットを設置する場合は、壁面に接するキャビネットから順に設置してください。

⚠ 注意

リリースワイヤーや水栓金具の給水・給湯ホースを化粧台と壁の間にはさまないように設置してください。洗面化粧台を運ぶ場合は、洗面ボウル開口を持たないでください。破損する恐れがあります。

〈ニースペースタイプ以外〉

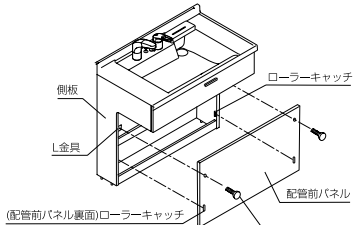
キャビネット本体を指定の位置に仮設置します。床の水平が出ていない場合、側板下のアジャスターを調整し、水準器で確認しながら水平を出してください。付属のねじ(トラスφ4.0×50mm)で洗面化粧台を壁に固定します。



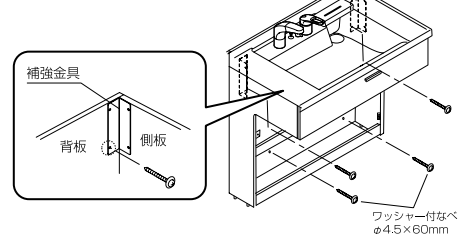
＜ニースペースタイプ＞

※ニースペースタイプは、壁固定する前は倒れやすい形状です。梱包材のスペーサーを利用するなどして取り付けしてください。

- (1)配管前パネルを外します。
配管前パネルに付いているユリアねじを外し、パネル裏面のローラーキャッチを外して、取り外します。

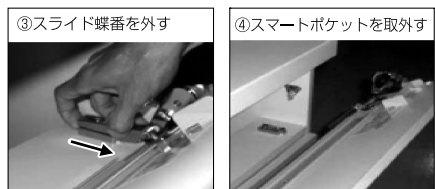
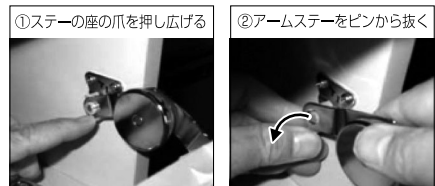


- (2)キャビネット本体を指定の位置に仮設置します。床の水平が出ていない場合、側板下のアジャスターを調整し、水準器で確認しながら図の位置にねじ(ワッシャー付なべφ4.5×60mm)で固定します。キャビネット下側は下穴があり、キャビネット上側は補強金具の下側で共締めします。
※ドライバーのビットは短いもの(35mm以下程度)を使用してください。(キャビネット内部補強金具)



- (4)(ニースペースタイプ以外の場合)
サイドカウンター下に位置する扉、引出しを取り外します。
(ニースペースタイプの場合)
図を参照し、扉を取り外します。

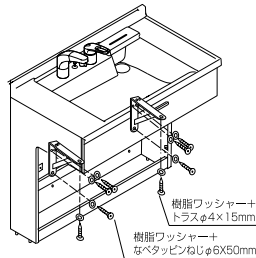
①、②の手順時は、扉が開ききらないように扉を支えながら行ってください。



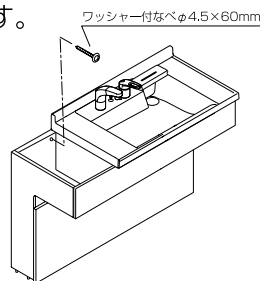
- (5)サイドカウンター背板の下穴を利用し、ねじ(トラスφ4×50mm)で壁固定します。

- (3)【W900、1000、1200タイプのみ】
※エンドパネルがある場合、あらかじめ側板に下穴をあけておきます。(エンドパネルに同梱の取付チラシを参照します。)

付属のブラケットを固定します。キャビネット背板の下穴位置に合わせて、付属ねじ[なベタッピンねじφ6×50mm(樹脂ワッシャー付)]で壁面へ共締め固定します。キャビネット上側へは付属ねじ[トラスφ4×15mm(樹脂ワッシャー付)]で固定します。
※付属のねじは余ります。



- (4)【W1200ボウル片寄せタイプのみ】
ボウル横の開口部背板にある下穴を利用して、ねじ(ワッシャー付なべφ4.5×60mm)で1点、壁固定します。

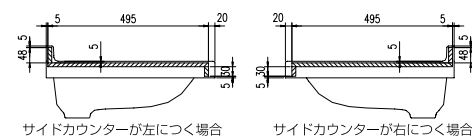


- (5)配管前パネルを(2)と逆の手順で取り付けます。

＜W1200mmボウル片寄せタイプの場合＞

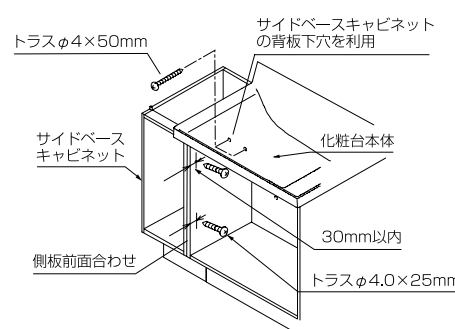
1.パッキンの取付け

図のように洗面ボウルの側面にスポンジパッキン(サイドカウンター同梱品)を貼り付けます。



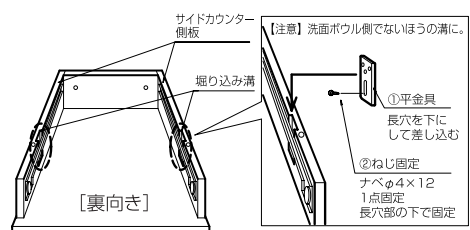
2.【扉タイプ、引出タイプのみ】サイドベースキャビネットの取付け

- (1)サイドベースキャビネットを洗面化粧台のとなりに仮設置します。高さが合わない場合はサイドベースキャビネットのアジャスターを調節してください。
(2)洗面化粧台内部より、図を参照し連結用ねじ(トラスφ4×25mm)2点で連結し、サイドベースキャビネット背板の下穴を利用し、固定ねじ(トラスφ4.0×50mm)2点で壁固定します。

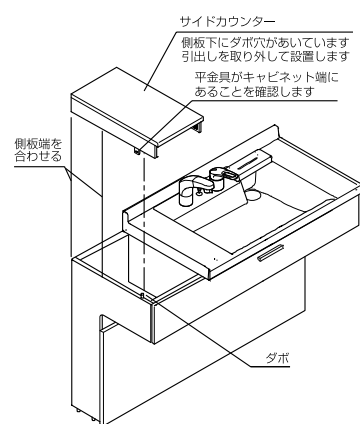


3.サイドカウンターの取付け

- (1)サイドカウンターの引出しを取り外し、裏向きにします。
(2)サイドカウンター両側板に掘り込み溝があります。洗面ボウル側でない方の掘り込み溝部にのみ、同梱部材の①平金具を図のように差し込み、②ねじ(ナベφ4×12)で下1点のみ固定します。



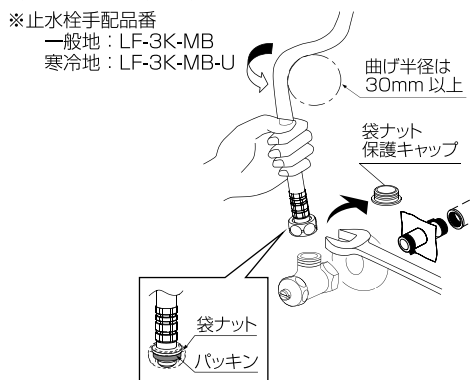
- (3)サイドカウンターを表向きに戻します。洗面ボウル横開口部またはサイドベースキャビネットの側板上部ダボに合わせてサイドカウンターを仮設置します。



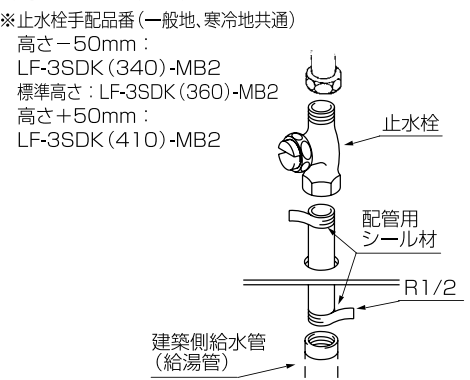
5 止水栓の取付け

止水栓はメンテナンス・流量調整に必要なため、必ず取り付けてください。
※止水栓は別途手配です。水栓金具の給水・給湯ホースの保護キャップを外し、ホースを手で持ちながら、止水栓にスパナ(対辺23)などで接続します。

【壁給水の場合】



【床給水の場合】



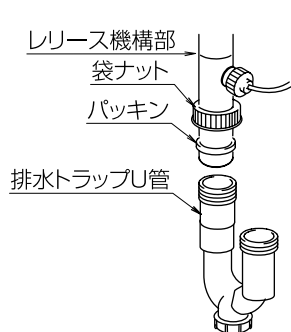
6 排水トラップの取付け

【取付前の確認】

- リリース機構部、オーバーフローはあらかじめ化粧台に取り付いています。リリース機構部、オーバーフローの袋ナットがゆるんでいる場合は3.5N・mで締め付けてください。

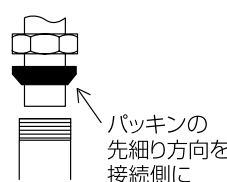
【排水トラップ取付時の注意】

- 袋ナットは手でしっかりと締め付けてください。



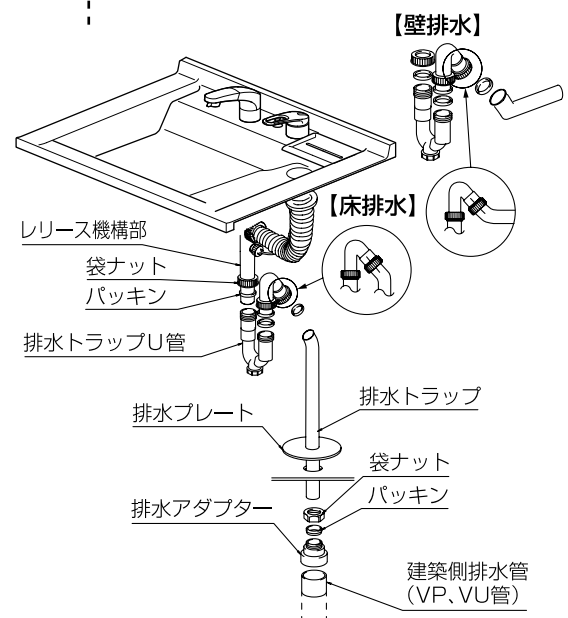
⚠ 注意

- パッキンの向きに注意してください。



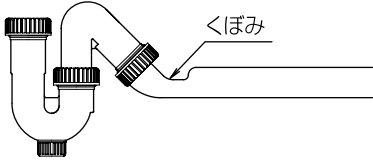
- ・管は奥に当るまで差し込んでください。
 - ・袋ナットはしっかり締めてください。
- ※漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- あらかじめリリース機構部下部に袋ナット、パッキンを通し、それから排水トラップU管を差込部の最後まで入れてください。
- 床排水の場合、建築側排水管に排水アダプターを接着して固定してください。
- 壁排水の場合は市販の排水アダプターを使用してください。
- 建築側排水管と開口部にすき間がある場合は、シリコンでコーキングしてください。
- 配管の接着は接着面全面に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥まで十分に押し込み接着してください。
※排水アダプターの上部の袋ナットをしっかりと締めてください。排水トラップのガタつきや、臭いなどの原因になります。



⚠ 注意

- 壁排水時、排水トラップのくぼみが建築側の継手やアダプターと重ならないように注意してください。
- 接着には耐熱塩ビ用接着剤は使用しないでください。
※漏水し、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。

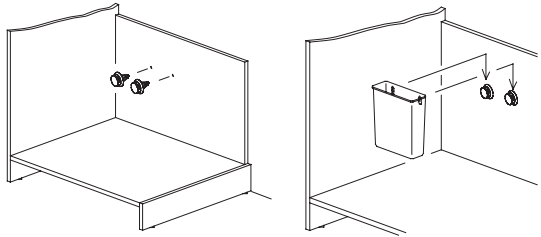


⚠ 注意

- ナット類は手でしっかりと締め付けてください。
※締付トルクの目安は3.5N・mです。
※締め付けが不十分だと漏水を引き起こす恐れがあります。
- 袋ナットは工具などで強く締めすぎないようにしてください。
※排水口部分が破損し、漏水を引き起こす恐れがあります。
- 排水トラップは、印を合わせて取り付けてください。
※排水能力が悪くなり、漏水を引き起こす恐れがあります。
- 引出しなどが排水トラップに干渉していないか確認してください。
※干渉していると、接続部が外れ漏水を引き起こす恐れがあります。
- 排水トラップのナットの位置を化粧台の奥側に向けてください。
※収納物が配管に当たり漏水する恐れがあります。

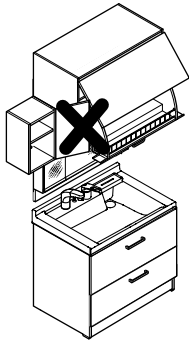
7 水受けタンクの取付け

キャビネット背板のガイド穴2ヶ所に付属のクリップを差し込み、水受けタンクを取り付けます。



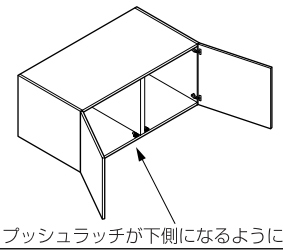
1 ミドルキャビネット・ランドリーキャビネットの固定

キャビネットの天面をミラーキャビネットの上端に合わせて設置し、キャビネットの内側より固定用ねじ（ワッシャー付きなべφ4.5×60mm）で壁に固定します。
※ランドリーキャビネット（間口調整付）は下部をご覧ください。
※アップパーキャビネット（ダウン機構付）の横に設置する場合は扉の吊元がアップパーキャビネット（ダウン機構付）の逆側にくるように設置して下さい。アップパーキャビネット（ダウン機構付）の収納部を降ろした場合、扉が干渉します。



2 アップパーキャビネットの取付け

- (1) ミラーキャビネットまたはミドルキャビネット・ツールキャビネットの上に設置し、キャビネットの内側より固定用ねじ（ワッシャー付きなべφ4.5×60mm）で壁に固定します。
- (2) 隣接するアップパーキャビネットがある場合は連結用ねじ（φ4.0×25mm）で固定します。※間口調整付は下部をご覧ください。

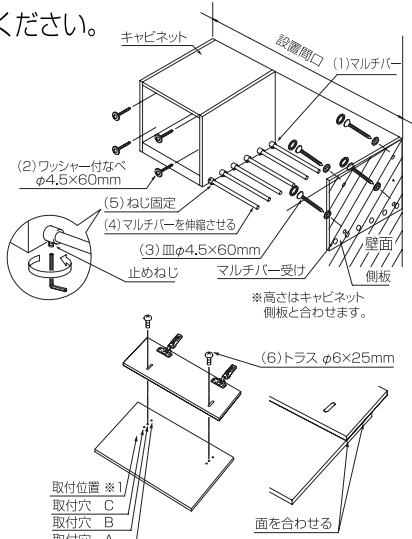


3 アップパーキャビネットの取付け（間口調整付）

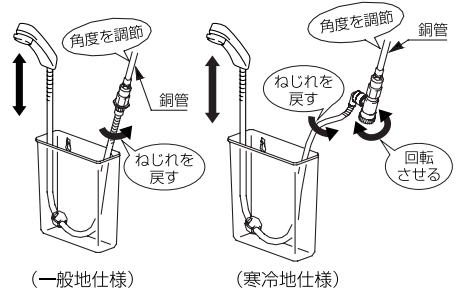
詳細については同梱の「取付上の注意」をご参照ください。設置前に壁との間口を確認してください。

品番	設置間口
G(A)RU-655FL(R)	W650~710
G(A)RU-755FL(R)	W750~810

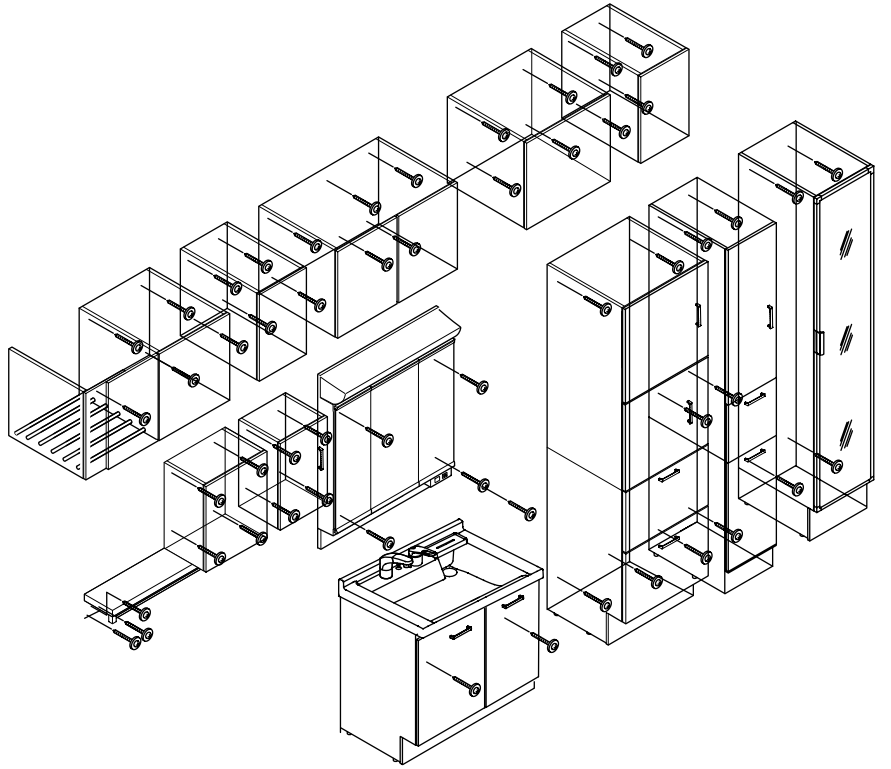
- 右図は化粧台に向かって右に設置するRタイプです。側板は必ず壁面に固定して下さい。
- (1) マルチバーをキャビネットに差し込みます。
 - (2) キャビネットを取り付けます。
 - (3) 側板を側面の壁に取り付けます。
※左右側板の水平が出ていることを確認してください。
 - (4) マルチバーを側板まで伸ばし、マルチバー受けに通します。



- ※水受けタンク取付後、ホースの動きを確認してください。
※ホースが止水栓と干渉したり、水受けタンクに収まりにくい場合は、次のように調節してください。
調整が不十分な場合、ホースが出入れしにくい。ホースが引っ掛かって水受けタンクが外れる。などが発生する場合があります。



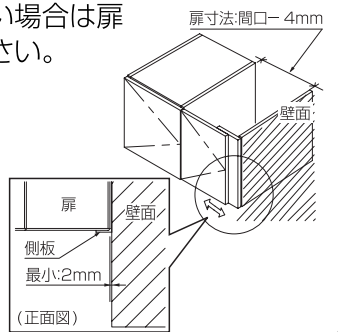
周辺キャビネットの取付け



- (5) 六角レンチを使用して止めねじで固定します。
※六角レンチ、止めねじは同梱部品です。
 - (6) 扉を調節します。扉（2枚）を重ね合わせ、固定します。
※取付位置は扉固定ねじ取付位置をご確認ください。
※扉の寸法は、キャビネットと壁面間の寸法に対して-4mmとしてください。
- (例) 寸法380mmの場合：扉間口376mm 扉の木口の下面が合っていることを確認してください。合わない場合は扉の固定箇所を一度ゆるめ、固定しなおしてください。

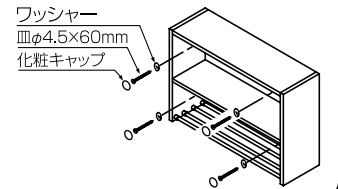
間口		※1
G(A)RU-655FL(R)	GRU-755FL(R)	取付位置
W650~670	W750~770	取付穴A
W671~690	W771~790	取付穴B
W691~710	W791~810	取付穴C

- (7) 扉を壁面から2mm以上離して扉が壁と干渉しないことを確認してください。
※壁と干渉しキズがつく恐れがあります。



4 ランドリーキャビネットの取付け

キャビネットの上面をミラーキャビネットの上端に合わせて設置し、キャビネットの内側より固定ねじ（皿φ4.5×60mm）、ワッシャー、化粧キャップで壁に固定します。

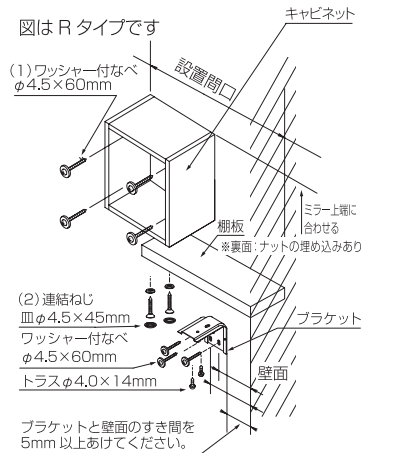


5 ランドリーキャビネット（間口調整付）の取付け

品番	設置間口
G(A)RK-652FL(R)	W650~710
G(A)RK-752FL(R)	W750~810

右図は化粧台に向かって右に設置するRタイプです。扉の干渉防止のため扉の吊元は右にして下さい。

- (1) キャビネットを取り付けます。キャビネットの上端をミドルキャビネットまたはミラーキャビネットの上端に合わせて下さい。
- (2) 棚板の水平が出ていることを確認してブラケットおよび連結ねじで棚板を取り付けます。ナット部が埋め込まれている方が裏面です。



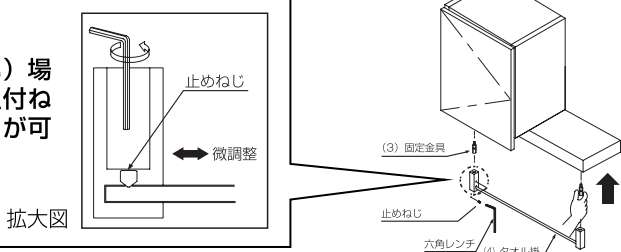
- (3) 固定金具を棚板裏のナット部にネジ込みます。
- (4) タオル掛を固定金具に差し込みます。六角レンチを使用して止めねじで固定します。
- ※六角レンチ、止めねじは同梱部品です。

⚠ 注意

固定金具を締め込みすぎないでください。
空転をおこしガタつきの原因になります。

ワンポイント

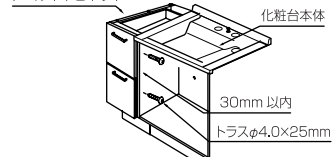
タオル掛が長い（または短い）場合は、タオル掛両端の内部組付ねじをゆるめて微調整することが可能です。



6 トールキャビネットの取付け

- (1) 下部キャビネットを洗面化粧台のとなりに仮設置します。
- (2) けこみ高さが合わない場合はトールキャビネット（下部）のアジャスターボルトで調節してください。
- (3) キャビネット上面のダボに上部キャビネットをはめ込みます。
- (4) キャビネットの内部より、上部4本、下部2本の固定用ねじ（ワッシャー付きなべφ4.5×60mm）で固定します。
- (5) キャビネット間にすき間が生じる場合は連結用ねじで固定します。

側板前面を
合わせて
固定します。
トールキャビネット



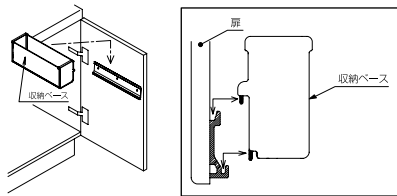
7 L型収納パックの取付け

「L型収納パック取付説明書」をご参照ください。

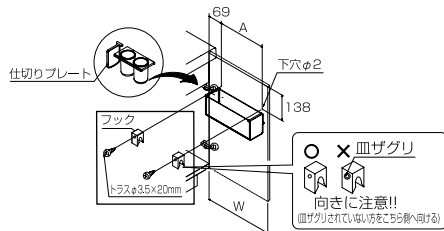
10 スマートポケットの取付け

＜扉タイプ・引出タイプの場合＞

- ① 収納ベースを扉裏面にセットします。収納ベースのツメが引っかかるようにして取り付けてください。扉内面にあててから下げるとセットしやすくなります。

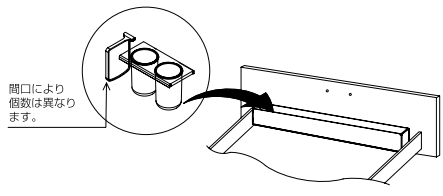


- ② 図の位置に下穴をあけ同梱のフックを固定ねじで取り付けた後、仕切りプレートを入れます。



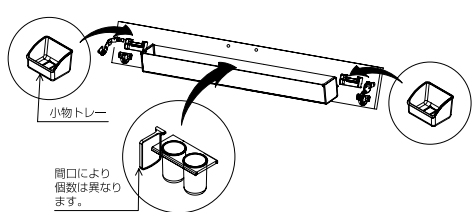
＜フルスライドタイプの場合＞

同梱の仕切りプレート等を入れます。



＜ニースペースタイプの場合＞

同梱の仕切りプレート、小物トレイを入れます。

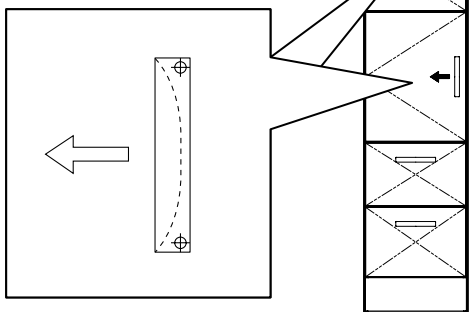
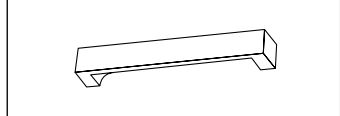


開口により
個数は異なります。
向きに注意!!
(皿がクリで挟み込まれるのを防ぐため)

11 取っ手の取付け

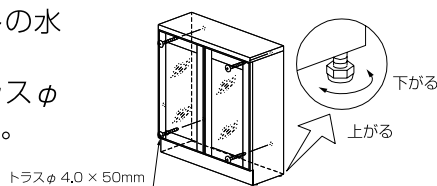
取っ手が同梱されているキャビネットの場合は、取っ手を取り付けます。図の取っ手を縦に取り付ける場合は、向きに注意して取り付けます。（図は左開きの場合。右開きは左右対称）

対象の取っ手



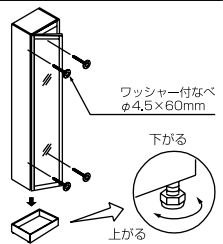
8 対面収納キャビネット（ベースタイプ）取付け

- (1) アジャスターボルトでキャビネットの水平を調節します。
- (2) キャビネットの内側よりねじ（トラスφ4.0×50mm）で壁に取り付けます。

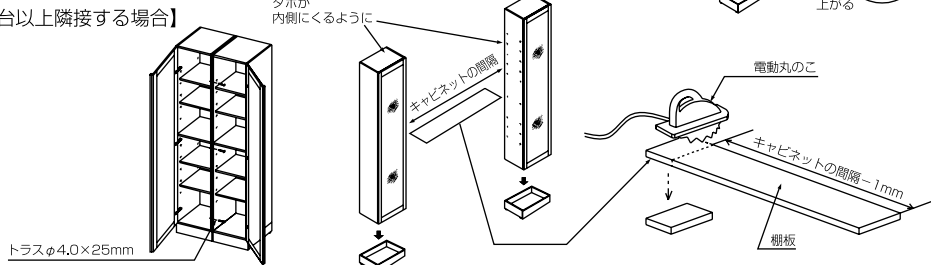


9 対面収納キャビネット（トールタイプ）の取付け

- (1) アジャスターボルトでキャビネットの水平を調節します。
- (2) キャビネット部の上下方向を確認して、けこみ部に取り付けます。
- (3) ねじ（ワッシャー付なべφ4.5×60mm）で壁に固定します。



【2台以上隣接する場合】



⚠ 注意

扉の吊元を確認し壁固定してください（LR共通仕様です）

※2台以上隣接するプランで、キャビネット間にすき間が生じる場合は、連結用ねじ（トラスφ4.0×25mm）で連結します。（蝶番の下方、上中下3か所）

※棚板（BB-LCW-T130）が付く場合ダボ穴が内側へくるようにキャビネットを設置してください。キャビネットのダボ穴にダボを差し込みます。棚板をダボの上に設置します。棚板をカットする場合はキャビネットの間隔-1mmでカットします。

オプション品の取付け

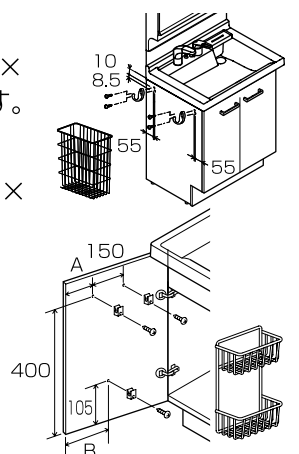
●サイドバスケット（BB-TD1-23）の取付け

右図の位置に同梱のフックを固定ねじ（皿φ2.7×16mm）で取り付けした後、バスケットを引っ掛けます。

●扉用バスケット（BB-EX5）の取付け

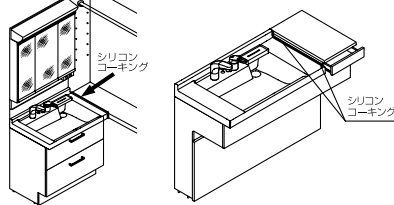
右図の位置に同梱のフックを固定ねじ（皿φ2.7×20mm）で取り付けした後、バスケットを掛けます。

間口	キャビネットタイプ	A寸法	B寸法
750	扉タイプ	60	135
750	引出タイプ	100	175
900	扉・引出タイプ	60	135
1000	扉・引出タイプ	60	135
1200	扉・引出タイプ	60	135



洗面ボウル周囲のシール

- 洗面ボウルと壁あるいは隣接キャビネットとの合わせ部をシリコンでコーキングします。
- L型収納パックと隣接する場合は、棚板と洗面ボウルとの合わせ部にもシリコンコーキングしてください。



⚠ 注意

コーキングしないと、合わせ部から水が浸入しキャビネットや壁・床を傷める場合があります。

取付後の確認

■キャビネット本体の確認

- 下記項目を確認してください。
- 取付ねじが十分に締まっていること
 - ガタつきがないこと
 - ※ガタつきがある場合はねじ位置をかえて取り付け直してください。

○扉のちりがそろっていること
※そろっていない場合は、後述の「扉の調節」で調節します。

■吐水量、排水量の確認

- (1) レバーハンドルを全開にしたときに、水側または湯側の流量が約8L/minを超える場合は、湯

水の流量が同じになるように、止水栓で調整してください。

※ポイント 8L/min の目安は、市販の洗面器（容量 3L）をいっぱいにするのに約 25 秒です。

(2) 排水栓を開け、水を一度に排出し、トラップ、排水管の各接続部からの水漏れのないことを確認します。

■吐水口の掃除

右記水栓は、通水確認時に吐水口の掃除を実施してください。

※詳細は、水栓金具に同梱の施工説明書をご確認ください。

水栓品番	
LF-E345SC(N)-MB LF-E340SYC(N)-MB3 LF-B340SYC-MB3	SF-810SY(N)-MB3 SF-500SY(N)-MB6
 泡沫ユニット キャップ ストレーナ	

扉の取付け・取り外し、ちり調整

※あらかじめ蝶番用ダンパーが取り付けられている場合は、P.8を参照し、一旦ダンパーを取り外して調節や取外し・取付けをおこなってください。

扉の調節

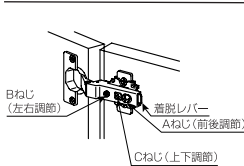
ワンポイント

- Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。
- 2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。
- Aねじ調節時は、扉を90°以上開かないでください。扉とキャビネットが干渉して、調節できない場合があります。

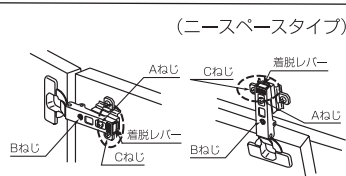
■準備するもの

手回しプラスドライバー
【ニースペースタイプは短い（全長100mm未満）もの】

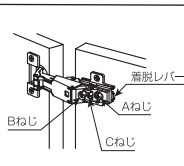
タイプⅠ



タイプⅡ（ニースペースタイプ）



タイプⅢ



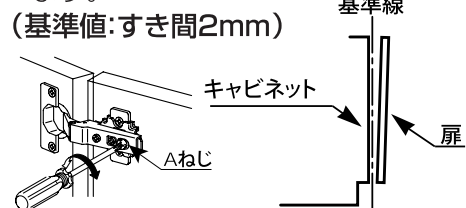
扉と側板のすき間が上下異なるとき

【タイプⅠ・Ⅲ】

- ①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。（基準値：すき間2mm）
- ②正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。

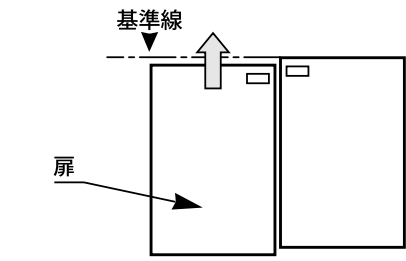
【タイプⅡ】

- ①扉上方の蝶番のAねじを左右へ回し、扉を動かして前後の正しい位置にします。（基準値：すき間2mm）



扉の位置が上下（ニースペースタイプ）異なるとき

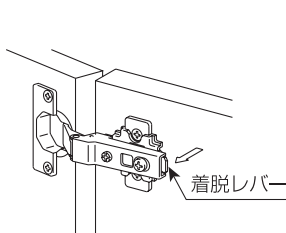
- ①扉上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
- ②正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。



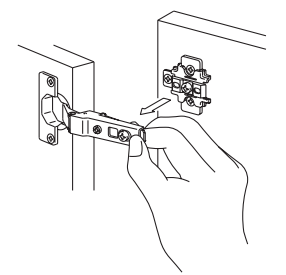
扉の取外し

- ①着脱レバーを手前に引っ張ります。

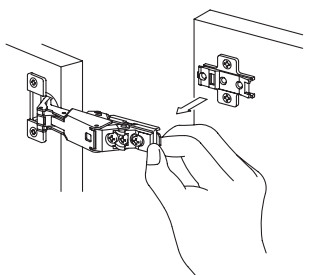
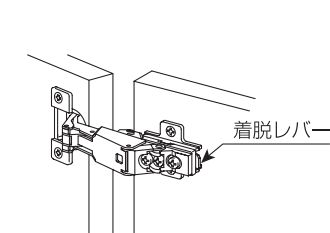
●タイプⅠ、Ⅱ



- ②蝶番を矢印の向きに引っ張って、取り外します。



●タイプⅢ



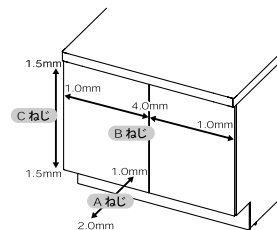
⚠ 注意

- 調整後は必ず、Aねじ、Cねじが硬く締め付けられていることを確認してください。

※ゆるんでいると、蝶番が外れて扉が落下し、ケガをする恐れがあります。

各ねじの調節方向と調節量

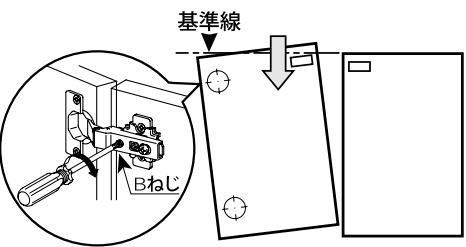
Aねじ （前後調節）	ねじを軽くゆるめて、扉を前後に少しずつ動かして調節します。 タイプⅠ：前へ2mm、後へ1mm タイプⅡ、Ⅲ：前へ2mm、後へ2mm
Bねじ （左右調節） [ニースペースタイプは上下調節]	タイプⅠ：右へ回す→内側へ4mm 左へ回す→外側へ1mm タイプⅡ、Ⅲ：右へ回す→右[下]側へ2mm 左へ回す→左[上]側へ2mm
Cねじ （上下調節） [ニースペースタイプは左右調節]	ねじを軽くゆるめて、扉を上下に少しずつ動かして調節します。 タイプⅠ：上へ1.5mm、下へ1.5mm タイプⅡ、Ⅲ：上[右]へ2mm、下[左]へ2mm



※図はタイプⅠの場合。
タイプⅡ、Ⅲは全方向2.0mm。

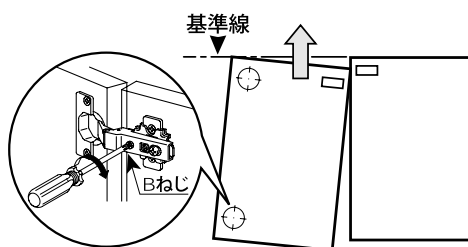
扉の先端が上がっているとき

- ①扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または、扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
- ②扉を閉めて確認します。
- ③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



扉の先端が下がっているとき

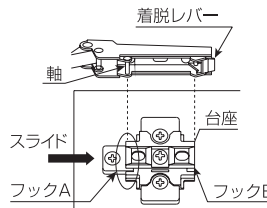
- ①扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または、扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
- ②扉を閉めて確認します。
- ③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



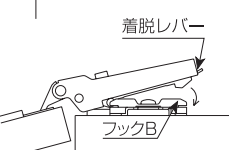
扉の取付け

- ①扉を矢印の向きにスライドさせて蝶番の軸または突起をフックAに引っ掛けます。

●タイプⅠ、Ⅱ



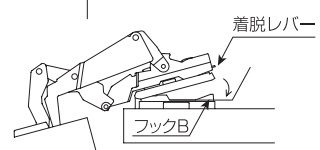
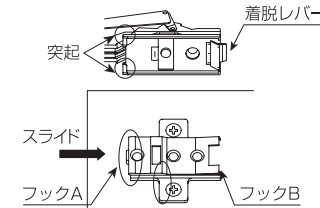
- ②脱着レバーをフックBに合わせます。



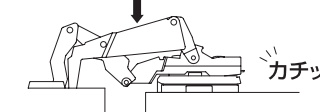
- ③蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。



●タイプⅢ



●タイプⅢ



⚠ 注意

- 扉の取り付け後は蝶番が台座へしっかりはまっていることを確認してください。

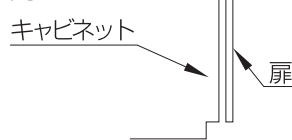
※扉の外れや落下によりケガをする恐れがあります。

プッシュラッチの調節

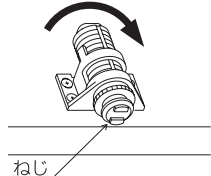
アップパーキャビネット・ミドルキャビネット・トールキャビネットの場合

扉と本体のすき間を確認します。

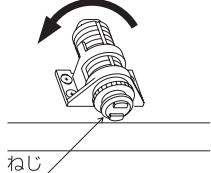
基準値：すき間2mm



- 扉のすき間が大きい場合。プッシュラッチのねじを右に回します。



- 扉のすき間が小さい場合。プッシュラッチのねじを左に回します。



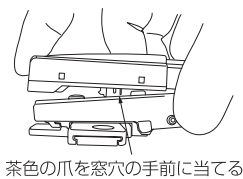
蝶番取付用ダンパーの着脱方法

取付け・取外しの際は、必ず保護用手袋を着用して行ってください。

■蝶番取付用ダンパーの着脱方法

●取付方法

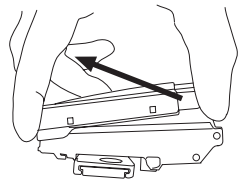
裏側に付いている茶色の爪を蝶番の窓穴の手前に当て上から押し、取り付けます。



茶色の爪を窓穴の手前に当てる

●取外し方法

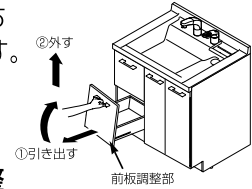
親指で樹脂部を持ち上げるようにして引き、取り外します。



引出しの取付け・取外し、前板の調整

1.引出しの取外し

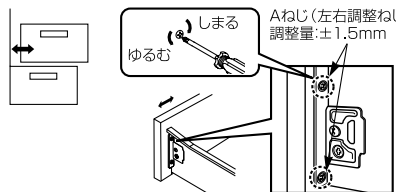
- ①引出しを最後まで引き出します。
- ②引出しを持ち上げて外します。



2.前板の調整

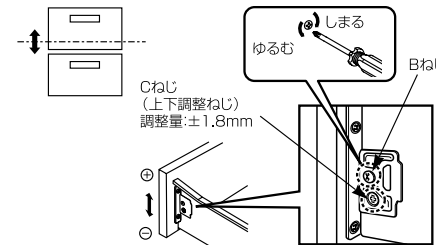
■左右方向の調整

- ① Aねじを4ヶ所すべてゆるめます。
- ② 引出前板を左右に動かして調整します。
- ③ ①でゆるめたAねじを固く締め付けます。



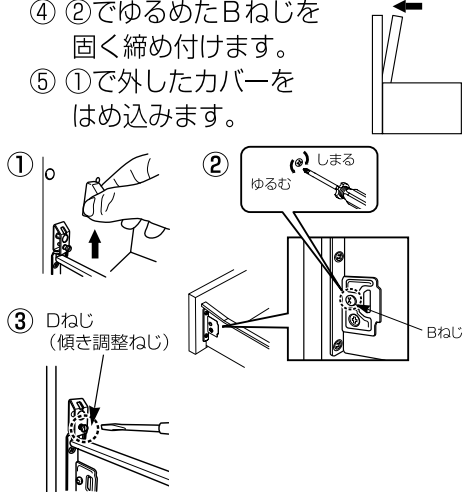
■上下調整

- ① Bねじをゆるめます。(左へ回す)
- ② Cねじを回して調整します。
上に動かす場合：ねじを右に回す
下に動かす場合：ねじを左に回す
- ③ ①でゆるめたBねじを固く締め付けます。



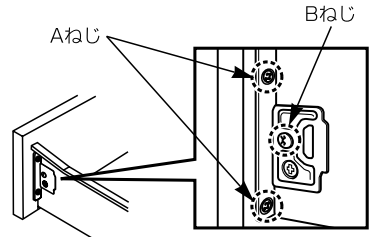
■前板の傾き調整

- ①カバーを上引き抜いて外します。
- ②Bねじをゆるめます。(左へ回す)
- ③Dねじを回して調整します。
手前に倒す場合：ねじを右に回す
後ろに倒す場合：ねじを左に回す
- ④ ②でゆるめたBねじを固く締め付けます。
- ⑤ ①で外したカバーをはめ込みます。



⚠ 注意

調整後、AねじBねじが固く締まっていることを確認してください。
※ねじがゆるんでいると、引出前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。



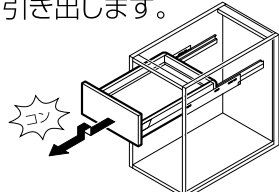
3.引出しの取付け

取外しと逆の手順で取り付けます。

引出し(フルスライド、ツールキャビネットランドリータイプ(品番がGRS-で始まるもの))の取付け・取外し、ちり調整

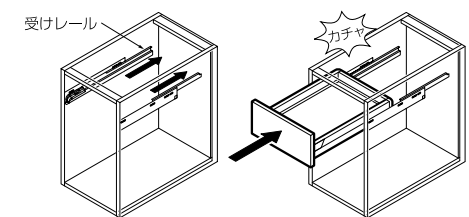
●引出しの取外し方法

引出しを止まるところまで引き出し、一度少し上に持ち上げ(コンという音がしてロックが外れます)てから、さらに手前へ引き出します。



●引出しの取付方法

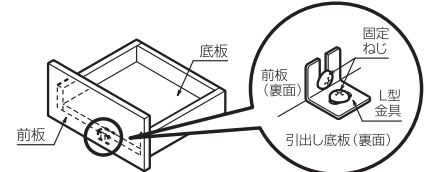
- ①ユニット本体側の受けレールを奥まで押し込みます。
- ②引出しを受けレールに乗せ、奥まで押し込みます。その際、カチャと音がしてロックされます。
※取り付け後は、数回引出しを開閉させ正確に取り付けられている(ガタつき・異音がないか)ことを確認します。



●引出しの調整

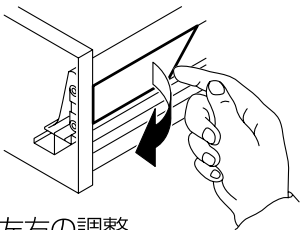
①調整前の準備

引出し前板裏面と引出し底板の間に、L型金具が取り付けられています。引出し調整(前板の傾き調整以外)を行う際は、必ず固定ねじをゆるめて(金具が動く程度)から行ってください。また、調整完了後は必ず固定ねじを締め付け直してください。



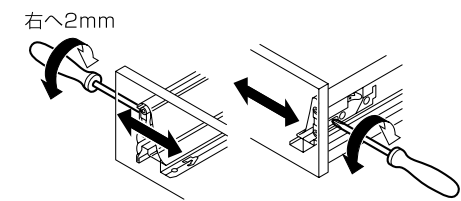
●引出しの調整方法 つづき

- ①引出し本体横の化粧カバーを取り外します。



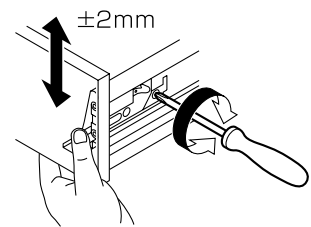
②-1 左右の調整

図のように、左右調整ねじを回して調整します。
右へ移動する場合：ねじを右へ回す
左へ移動する場合：ねじを左へ回す
※調整は、引出し本体の左右共に行ってください。
※調整範囲：左右方向へ各 1mm(計 2mm)程度



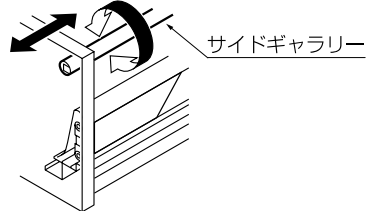
②-2 上下の調整

図のように、ねじを少しゆるめます。引出し前板の上下位置を調整し、ねじを固く締め付けます。
※調整範囲：上下方向へ各 2mm(計 4mm)程度



②-3 前板の傾きの調整(サイドギャラリー付き引出しのみ対応可能)

図のように、サイドギャラリー(パイプ部)を回し、前板の傾きを調整します。
前板を手前へ倒す場合：左へ(前板正面から見て)回す
前板を後方へ倒す場合：右へ(前板正面から見て)回す
※サイドギャラリー後方の樹脂部品(グレー色)のねじ部にすき間が残りますが、このすき間は調整しるです。



ツールキャビネット(ランドリータイプ(品番がARS-で始まるもの)・間口150)引出しの取付け・取外し、調整

ツールキャビネット(ランドリータイプ)の場合

●引出しの取外し方法

- ①引出しを最後まで引き出します。
- ②引出し両サイドのレールのツマミを指で押し右側は下げ左側は上げて手前に引きます。



●引出しの取付方法

- ①キャビネット本体側のレールを手前に引き出し、引出し側のレールと合わせます。
- ②引出しを最後まで押し込みます。

ツールキャビネット(間口150)の場合

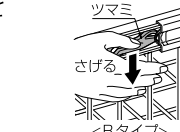
●引出しの取外し方法

- ①引出しを最後まで引き出します。
- ・Lタイプの場合
②下レールのツマミを上げ手前に引きます。
③上レールのツマミを上げそのまま引出しを引き出します。



・Rタイプの場合

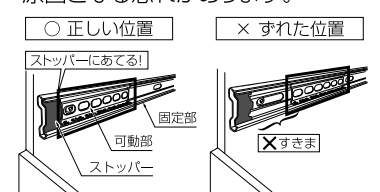
- ②下レールのツマミを下げ手前に引きます。
- ③上レールのツマミを下げそのまま引出しを引き出します。



⚠ 注意

●引出しを取り付ける際のご注意

※レール内部の可動部の位置に注意して取り付けください。ずれた位置で取付けた場合、レールが破損し、動作不良の原因となる恐れがあります。



●引出しを取り付けた後は、数回開閉させ、ガタつきや異音がないかなど、正確に取り付けられていることを確認してください。
※正確に取り付けられていないと、引出しが使用中に外れてケガをする恐れがあります。

●引出しの取付方法

- ①キャビネット本体側のレールを手前に引き出し、引出し側のレールと合わせます。
- ②引出しを最後まで押し込みます。

ツールキャビネット(ランドリータイプ・間口150)の引出しの調整方法

●引出し前板を左右、上下へ調整する

- ①前板調整部の固定ねじをゆるめます。
間口150ツールキャビネット：4ヶ所
ランドリータイプ 上引出し：2ヶ所
ランドリータイプ 下引出し：6ヶ所
- ②引出し前板を上下左右に動かして正しい位置にします。
- ③①でゆるめた固定ねじを固く締め付けます。

